

令和3年度 第21回 社会科課題追究学習作品展（報告）

令和3年12月
学校支援課

1 作品展・表彰式について

- (1) 作品展：10月30日（土）～10月31日（日） 中止
 (2) 表彰式：10月31日（日） 中止

- ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として中止した。
- ・最優秀賞、優秀賞受賞者について、当該校を通して賞状及びトロフィーを授与した。
 - ・入選の25名については、当該校を通して賞状を授与した。
 - ・入賞者全員に副賞を授与した。



2 応募作品について

(1) 応募・取組状況

	応募作品数				取組作品総数			
	小学校	中学校	高校	合計	小学校	中学校	高校	合計
R3	709	185	3	897	2,691	949	3	3,643
R2	201	56	4	261	317	65	202	584
R元	1,001	282	2	1,285	3,497	1,525	73	5,095
H30	1,047	261	3	1,311	3,184	1,626	10	4,820
H29	869	214	3	1,086	3,268	1,598	392	5,258

- ・社会科の授業を活かした作品が、県内全体に広がりつつある。
- ・昨年度に比べ、コロナ禍であっても、作品づくりに取り組む児童生徒が増加した。

(2) 作品の傾向

<p><全体の傾向></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までに追究してきた課題に対して、引き続き別の視点から追究したり、日常生活における疑問を解決しようと、実生活に結び付けて考察したりする作品が多く見られる。 ・複数の場所や過去と現在を比較して、社会的な見方・考え方を働かせて考察したり、追究したことを生かして、現代社会が抱える諸課題を自ら解決しようと行動に移したりしている児童生徒の姿が多い。 ・「SDGs」や「環境問題」、「福祉」等、現代社会が抱える諸課題をテーマにその現状を様々な視点から調査して情報を収集するとともに、自分にできることを考察する際に、発達の段階に応じて、社会の仕組みや関係機関の働きに注目し、主体的に社会参画しようとする作品が見られる。
<p><小学校低学年、中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路のマンホールの蓋や落ちているごみなど、普段の生活の中で興味をもったことや疑問に感じたことが課題となっている作品が多く、実際に歩いて調べて分かったことをまとめたり、次に取り組んでみることを見いだしたりしている作品が多く見られる。 ・学校で学習したことや自分の家族から聞いたことなどを空間的・時間的に広げて追究しようとする作品が多く、学んだ知識を活用したり、社会的な事象と関連付けて考えたりしてまとめている。 ・地域の交通状況や史跡、図書館の本に関する情報と運輸の関連など、様々な場所に調査に出かけ、現地や社会で働く人々の様子について、1ヶ所当たりの情報収集を精力的に行っている。
<p><小学校高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において家族や学校の仲間のために自分ができることや豪雨災害などの今年の出来事に注目して、様々な場所に出かけたり、多くの関係者に聞き取りを行ったりして、収集した情報を総合して考察し、課題解決に取り組もうとする作品が多く見られる。 ・メディアで取り上げられている地球規模の諸課題や住んでいる地域に対して、自分にできることを見いだそうとしたり、地域の魅力を捉え直そうとしたりして、社会に対する自分の参画の仕方や自分との関わりを考えている。
<p><中学校・高等学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の被災地を訪れたり、過去に調べた内容と比較したりして、社会的な見方・考え方を働かせて自らの考察を深め、課題に対する結論や願いを確かなものにしようとする作品が多く見られる。 ・興味のある歴史的な事象を様々な文献から詳細に調査したり、施設や景観を観察したり、関係者に聞き取り調査をして明らかにしたりして、多様な調査活動を通して多面的・多角的に考察している。